

上田仮説サークルニュース		5月例会	2014. 5号
編集責任 遠藤 裕		発行2014. 6. 28	
〒383-0041 中野市岩船426-3 サングァーデン中野 B-G		TEL 0269-23-2847	携帯 090-1406-9115
メール endo-h@cronos.ocn.ne.jp		勤務先 長野工業高校	TEL 026-227-8555

5月24日(土) 上田中央公民館 3F第1・第2学習室
午後3:00～()



参加者数	名
資料総ページ	55 ペ

<参加者> 増田伸夫さん, 渡辺規夫さん, 北村知子さん,

はじめに 5月例会の参加者は()名。

レポート発表は, 増田さん1本, 渡辺さんから5本, 知子さんから1本。5月例会は私(遠藤)は所用で出席できませんでした。増田さんから預かった資料をもとにこのサークルニュースを書いていますのでご了承下さい。「稲むらの火の館(濱口梧陵記念館)」のパンフレット, 『小学国語読本 卷十』(文部省)の小冊子の紹介がありました。(おそらく増田さんの紹介だと思います。ありがとうございました。)



1. 発表資料

① サークルニュース 4月例会 遠藤 裕 (4ペ)

1. 発表資料

- ① サークルニュース 3月例会 遠藤 裕 (8ペ)
- ② 教職をめざすみなさんへ 渡辺規夫さん (8ペ)
- ③ 剛体の力学単元テストの正答率と分析 渡辺規夫さん (11ペ)
- ④ 情勢分析のしかたをどう身につけたか 渡辺規夫さん (4ペ)
- ⑤ ドイツ旅行記 望月久和さん (8ペ)

② 今月の旅行(イタリア) 増田伸夫さん (16ペ)

イタリア8日間(ミラノ・ベネチア・ピサ・フィレンツェ・ローマ・ナポリ)の旅行記。

阪急交通公社の主催する「とっておきイタリア8日間」のツアー。(4/21(月)～4/28(月))参加者は21名。増田さんは, 出発前に上田仮説本社発行の『板倉先生と行く! ヨーロッパ近代科学史の旅 参加報告記録集』(発行 1988.10.15)でイタリアについて書いてある部分と『地球の歩き方イタリア』を読んでいったそうです。

<長野～香港国際空港～ミラノ空港> (香港空港はまさにハブ空港)

- <ミラノ（ドゥオモに圧倒，落書きに落胆，都市国家に城壁は？）>
- <ベネチア（ゴンドラ遊覧と絶品イカ墨パスタ）>
- <ピサ（斜塔と有料トイレ）>
- <フィレンツェ（ウフィッツィ美術館で「ヴィーナスの誕生」）>
- <ローマ（サンピエトロ寺院とどこもかしこも遺跡のローマ）>
- <ナポリ・カプリ島（有名人の保養地・レモンの島）>

あとがきより この旅行はものすごく疲れたけど，ものすごく楽しかったです。長野駅から添乗員がつくという完全お仕着せの旅でしたがとても満足しているそうです。イタリア人は陽気でアバウト，しかも口がお上手，<あっと驚くためゴロー><じえじえじえ>までよく研究している。一方で，落書きやスリ，治安の悪さ，有料トイレなど理解しがたい面も。

（ご夫妻でイタリア旅行を楽しまれたようです。次回は「半分お仕着せ，半分フリー」の旅行にチャレンジ?のようです。 エトウ）

③ 教え子からのメール 渡辺規夫さん（2ペ）

渡辺さんの教え子の中尾美紗子さんからのメールの紹介。

8月の信大繊維学部での「板倉さんの講演」についての日程の問い合わせと最近の学生生活の様子が書かれています。

大学のサイエンスカフェの学生ボランティアの代表としての活動，夏休みに学部生が参加できる若手会（地球科学系の他大学の学生との交流の場）を作る企画，大学の授業「地学実験」での野外実習，サークル活動での巡検。このようにやりたいこと全てに手を出し，毎日，目まぐるしく生活しているとのこと。

（高校時代，渡辺さんから仮説の授業を受けた中尾さん。大学に入ってから興味を持ち，各方面で活躍されている様子がうかがえます。 エトウ）

④ 単振動・万有引力の問題の解き方 渡辺規夫さん（2ペ）

単振動と万有引力の問題の解き方のプリントの紹介。

<公式のまとめ><ここに注目><ポイント>という形で整理されています。問題を解くときの手引きとなるプリント。

（授業を組み立てるときにも参考になるプリントです。 エトウ）

⑤ 物理特編授業《剛体の力学》授業アンケート 渡辺規夫さん（4ペ）

上田高校2年生・物理選択者の特編授業のアンケート結果。

1. 渡部先生の特編授業はどうでしたか。

5 (とてもよかった) 4 (よかった) 90.8 %

2. 《剛体の力学—力のモーメント》という問題集について…独自の問題集・授業プラン

たのしかったですか 5 (大変たのしかったです) 4 (たのしかったです) 73.1 %

わかりましたか 5 (大変よくわかった) 4 (わかった) 79.2 %

ためになりましたか 5 (大変ためになった) 4 (ためになった) 91.5 %

3. 《重心から重心を求める—ニンジンからコマ》の授業について

たのしかったですか 5 (大変たのしかったです) 4 (たのしかったです) 88.51 %

わかりましたか 5 (大変よくわかった) 4 (わかった) 83.8 %

ためになりましたか 5 (大変ためになった) 4 (ためになった) 86.25 %

渡辺さんの考察 《重心から重心を求める—ニンジンからコマ》の授業の方が《剛体の力学—力のモーメント》より評価が高かった。

(渡辺さんの作られた授業プラン《剛体の力学—力のモーメント》はさらに検討して発展させられるといいですね。 エドワ)

⑥ 牧衷講演記録 第9集 渡辺規夫さん (15ペ)

—自発性にもとづく授業・教育・運動—

まちにまった『牧衷講演記録 第9集』が出版されました。目次を見ると2部構成になっています。

第1部 仮説実験授業の基本思想 第2部 社会の見方・考え方

編集者から読者へ 渡辺さんは「多くの人がこの講演から学び取り、それぞれの課題解決のヒントとしてくれることを期待してこの本を出版します。」と書いています。

後書きでは、「10年ぶりの出版です。牧衷さんの話は聞くたびに啓発されます。現在の教育の状況、政治の現状を考え、何をしたらいいかについての指針をこの講演記録から読み取って生かしていただければこんなうれしいことはありません。」と書かれています。(是非手にとってじっくり読み、自分の実践に生かしていきたいと思います。 エドワ)

⑦ 2014年センター試験(物理)解答分析(中間報告) 渡辺規夫さん(4ペ)

U高校のセンター試験(物理)の解答分析の中間報告。

センター試験(2014年度)の第1問「力学的エネルギー保存の法則」の問題について、受験生(117人)の解答分析がされています。

[結論] 上位層はケアレスミス以外は正答。中位層はの真の正答率は62.7%。下位層の真の正答率は0%。

[分析] 全体の真の正答率は58.1%。・・・これは驚くべき低正答率(未完)

このところ渡辺さんは「学力調査の補正と分析」ということについてサークルで話題にしてきました。それをセンター試験の結果について適用し、今回のレポートを発表してくれました。分析で、「これは驚くべき低正答率である」と渡辺さんはいっていますが、受験生の「力学的エネルギー保存」の理解の仕方のどこかに問題があるということになるのでしょうか。いろいろと議論ができれば面白いと思います。

(この分析から、力学的エネルギー保存の法則に関する授業プランができるかもしれません。 エンドウ)

⑧ <力と運動>第1部 北村知子さん(8ペ)

安中第二中3年生での<力と運動>第1部の予想分布と感想。

生徒さんの予想の理由に「同じ大きさの力で引っ張るから速さは同じ」「重力はどの位置でも同じ大きさだから、ビー玉はずっと同じ速さで落ちる」といった意見が見られ、やはり仮説の授業は生徒さんの考えていることを知ることができ、教えている方もたのしかった授業のようです。

生徒さんの感想 自分たちで予想を立てながら実験するのがいいと思いました。他の人の意見なども聞けたので良かったです。一番印象に残ったのは、ビー玉が高いところから落ちたときの速さの増え方です。落ちている間に速さが増えるなんて思っていなかったので一番印象に残っています。なので、物が高いところから落ちるときは一緒に速さが増えていることがわかりました。 / 物体が一定の速さで動くという予想がちがいが、どんどん速くなっていったのがとても印象的だった。実験で証明することによって明確に見て覚えることができた。覚えることも考えることも多くて大変でした。自分の考えとちがう結果がたくさんあってたくさんすることを学べた。 / 初めは実験予想はかんだったけど、加速する仕組みや進んだ距離を求める計算の仕方が分かり、予想も根拠がある予想ができるようになった。

(このレポートでは、知子さんは生徒さんの感想にいいコメントを付けられています。中に「4回の授業で多くの人が『かん』ではなく、『根拠ある予想』を立てられるようになったようですね。」と書いています。 エンドウ)

★ 今後の予定 ★
7月26日(土)
8月23日(土)
9月 調整中

あとがき 6月13日に組合の長水支部定期総会が終わりホッとしています。牧さんの講演記録集、ついに出版!読むのが楽しみです。組合は労連関係の仕事も多く、牧さんの本を参考に自分なりに情勢分析をし組合活動に取り組みたらと思っています。

(エンドウ)